

京林大だより

No.66



絵：卒業生 熊走君

「卒業研究発表会」を開催しました

卒業研究は、2年生一人一人が林業大学校での講義や実習、キャップストーン研修等を通じて気付いた疑問や課題について調査・研究するもので、2年間の学びの集大成として毎年、卒業前に発表しています。

今年は2月15日(水)、わち林業センターにおいて、12課題について発表しました。研究のテーマは、「地元での導入を考えたロケットストーブの可能性」や「鳥獣被害の現状及び対策方法としてのジビエ活用」「目立ての持続性と頻度について」「京丹波町の森林空間を活用した森林サービス産業の創出と推進」「森の恵みでジャム作り」など、バラエティに富んだものとなりました。内容としては、十分に検討されて充実した研究、学生ならではの面白い発想に基づく研究がある一方で、研究方法や発表方法に工夫がほしいものもありましたが、学生たちにとっては、自分が選んだ一つのテーマに真剣に取り組み、考えを整理・表現することを通じて、今後につながる貴重な経験ができたことと思います。



発表の様子



発表の様子



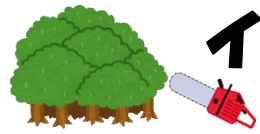
集合写真

第10期生、卒業しました。
2年間大変お世話になり、
ありがとうございました。

3月13日(月)、和知ふれあいセンターにおいて第10期生13名の卒業式が行われました。今年は3年ぶりに多くの御来賓の皆様や1年生、保護者の皆様が見守る中、清々しい気持ちで学校を巣立っていきました。

第10期生は、入学以降に授業の時間割の変更やドイツ研修の中止など、コロナ禍によって多大な影響を受けましたが、地元の皆様や多くの林業事業者の皆様に見守られながら、無事に卒業できました。京都府内で就職する学生も多数おりますので、末永くよろしくお願いたします。





インターンシップ (職業体験)

今年も府内8つの森林組合にお世話になり、1年生（第11期生）15名が、インターンシップ研修を受講しました。

研修期間は、2月27日（月）から3月3日（金）までの5日間で、これまで講義や実習で学んできたことを実践でどれだけ活かすことができるのかを知れる良い機会となりました。

研修の様子を見学させていただくと、指導者の皆様が学生に対し、熱心に指導していただく姿が印象的で、学生にとって非常に有意義な研修になっていることが伝わってきました。

今後学生たちが、このインターンシップでの経験を踏まえて2年生となり、さらなる実力をつけて就業できるように引き続き取り組んでいきます。



間伐作業



作業道踏査

今月の授業参観

『高性能林業機械操作士』2名合格!

高性能林業機械操作士は林業専攻の学生が取得可能な京都府独自の資格です。

ハーベスタ等の高性能林業機械の操作試験と機械に関する筆記試験の両方の試験点数が、基準を超えた合格者に資格が与えられます。

今年度の試験合格者は以下の2名となりました。

高橋 瑞稀 君、吉村 伊織 君

合格おめでとうございます。この難関な試験を見事突破した学生は林業技術者として、現場で活躍することを期待しています。

『森林公共政策士』2名合格!

森林公共政策士は森林公共人材専攻の学生が取得可能な京都府独自の資格です。

今年度は、京丹波町からの「森林環境譲与税等を使った京丹波町の新たな振興策」を提案するというテーマに対し、「京丹波町の森林空間を活用した森林サービス産業の創出と推進」という方策を報告しました。その結果、試験合格者は以下の2名となりました。

井内 昇 君、橋爪 真助 君

合格おめでとうございます。就業してから様々な地域課題の解決に向けた活躍を期待しています。



校長室より

第10期生が卒業しました!

校長 柴田 繁

寒かった冬が終わり、日差しに春の暖かさを感じる季節となりましたが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

さて、本校では、第10期生13名が、2年間の学校生活を終えて、3月13日（月）に卒業式を迎えました。13名中8名が他府県の出身者ですが、3名が地元を離れて京都府内に就職することとなり、府内出身者の5名と合わせて、8名が京都府内の森林・林業・木材産業の新たな担い手として、4月から新生活をスタートします。

第10期生の学生生活は、新型コロナウイルス感染症のパンデミックという未曾有の厄災の中、ドイツへの海外研修の中止や京林大の伝統行事である日本海ウォーキングなどの学校行事の縮小など、制約を受けながらの2年間の学校生活となりましたが、京丹波町や京丹波森林組合、

地域の皆様の御支援や御協力をいただき、卒業の日を迎えることが出来ました。

学生たちは、コロナ禍の制約がある環境の中でも、森林・林業に関する実践的な知識と技術を習得するために頑張りました。特に、長野県・岐阜県・京都府の3林業大学校で伐木技術を競い合う全国林業大学校対抗伐木選手権では、見事、総合優勝で2連覇の偉業を達成し、京林大で習得した知識と技術を発揮してくれました。

2年間の学校生活では、時には、地域の皆様に御迷惑と御心配をおかけすることもあり、大変申し訳ありませんでした。それでも地域の皆様の暖かい御支援と励ましのお声をいただき、学生たちは、人間として成長を重ねていきました。

京都府立林業大学校は、昨年4月に林業専門の学校として、ここ京丹波町の地に開校してから創立10周年を迎えました。その間、本年卒業した第10期生を加え、164名を送り出しました。「自然を尊敬できる人間を育てたい」という本校の教育理念に基づき、習得した知識と技術を活かし、京丹波町での学校生活を通して成長した彼らが、京都府内をはじめ、全国の林業現場の最前線で活躍してくれることを期待しています。頑張り、第10期生。